



# 自分でメディアをコントロールする力を育てましょう

ダイジェスト

平成 30 年度「中学生の意識・行動と保護者の家庭教育に関する調査」のまとめ

## 36年の推移をふまえて ヒントはここに！

# 中学生の家庭教育、子育て

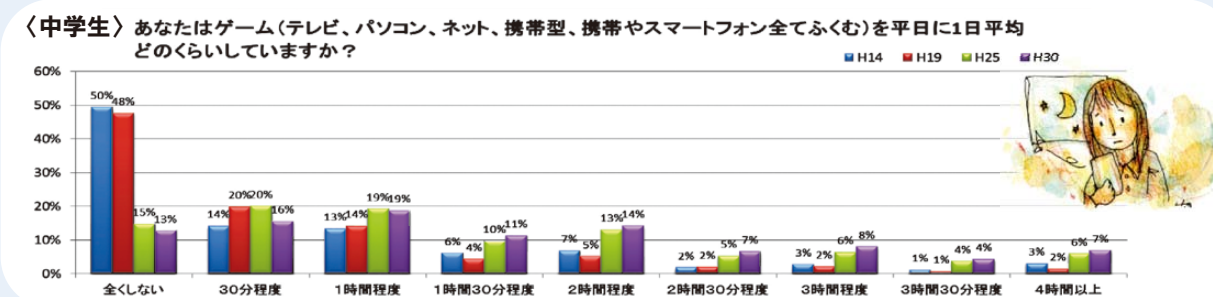
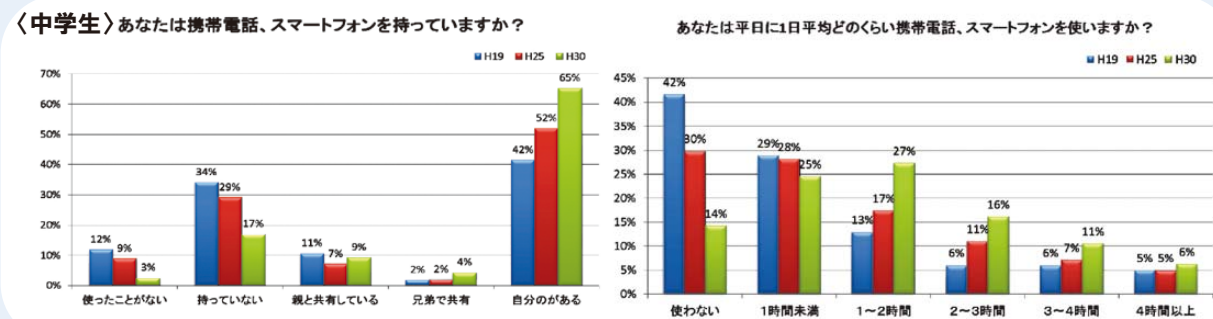
福岡県教育委員会では、平成 30 年度に中学生とその保護者を対象に「中学生の意識・行動と保護者の家庭教育に関する調査」を行いました。昭和 57、平成 5、10、14、19、25 年度に続き、7 回目の調査となります。今回この調査結果のダイジェスト版を作成しました。36 年の推移をふまえ、これからの家庭教育や子育ての在り方を探るヒントとして活用していただければ幸いです。



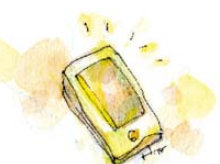
対象者：県下 6 中学校の中学生とその保護者  
有効回答数：中学生 1,988 名  
保護者 3,274 名  
※グラフについては無回答の度数を省略しています。



## 家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう



今回の調査では、中学生が自分の携帯電話・スマートフォンを所持している割合が、平成 25 年度より 13%増加しています。保護者や兄弟との共有を含めると 78%の中学生が携帯電話・スマートフォンを使用しています。使用時間についても、1日1時間以上使用する割合がさらに増えており、長時間使用する傾向がみられます。また、1日1時間以上ゲームをしている割合も増加傾向にあります。手軽に携帯でき、インターネットにもつながる携帯電話・スマートフォンは、大変便利なものです。しかし、使い方等については、家庭で話し合ってルールを決め、子どもが自分でメディアをコントロールできる力を育てましょう。



## 一人で悩まず 気軽にアクセス

① HP「ふくおか子育てパーク」  
～子育てに役立つ情報がいっぱい～

ふくおか子育てパーク

検索

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>

③ 家庭教育相談電話「親・おや電話」  
～専門の相談員がお受けします～

電話 092-947-3515

月曜～土曜 (9:00～17:00)

※センターの休所日、第2月曜、第4土曜、国民の祝日、年末年始は除く

② 子育ての悩みは「メール相談」  
～先輩ママがお受けします～

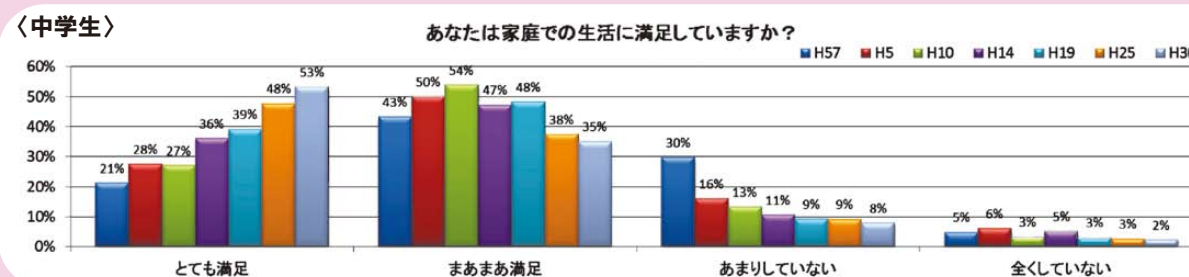
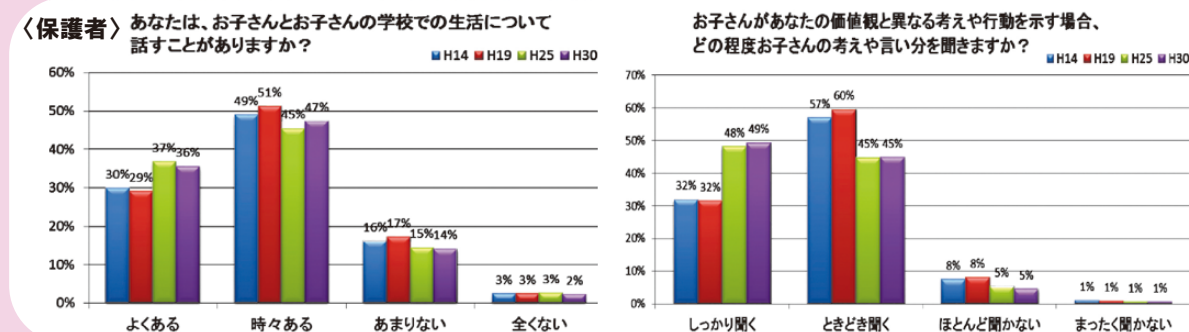
(メール相談は、「ふくおか子育てパーク」内に受付ページがあります。)

編集/発行

福岡県立社会教育総合センター

糟屋郡篠栗町大字金出 3350-2

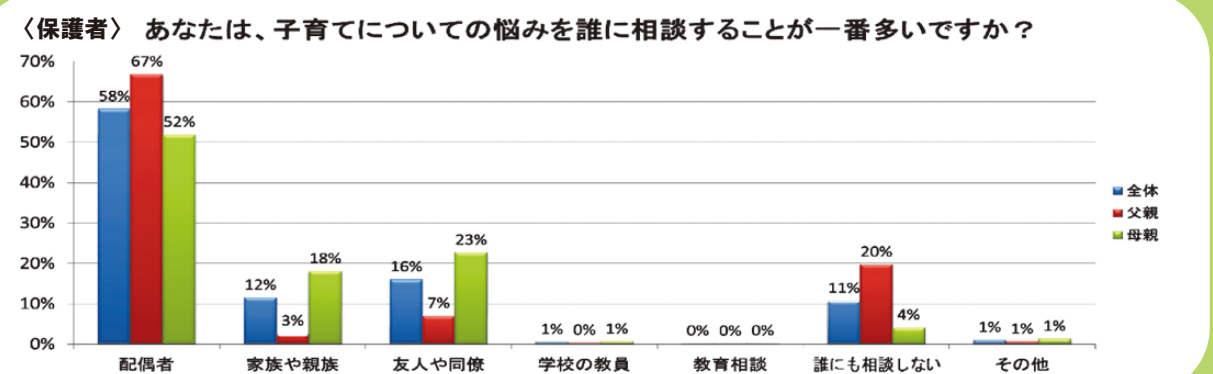
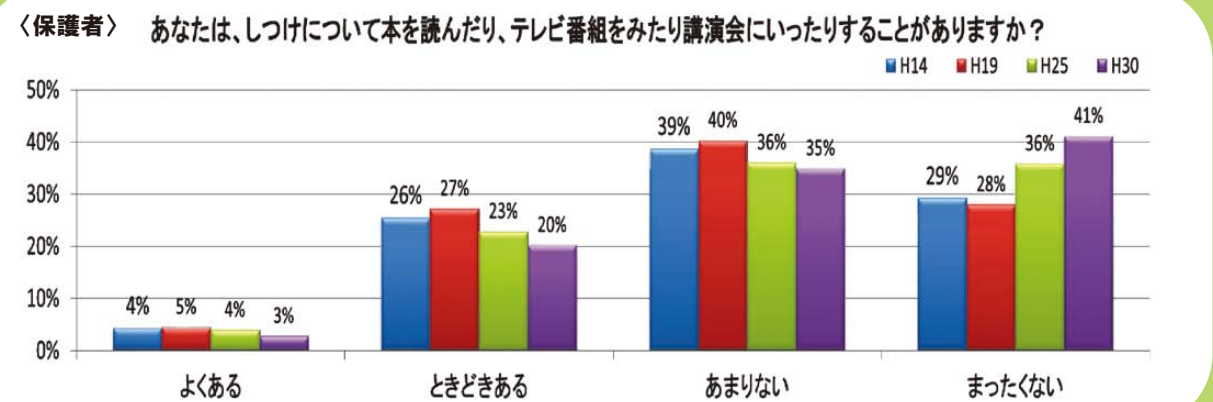
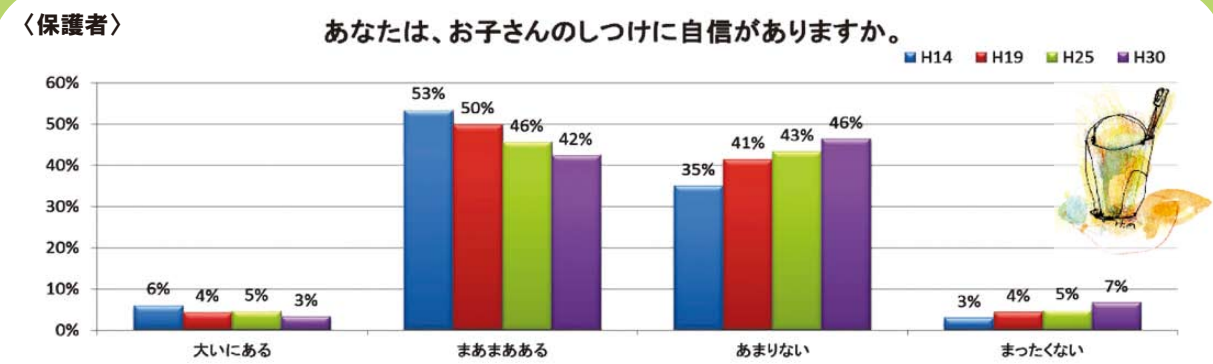
電話 092-947-3512



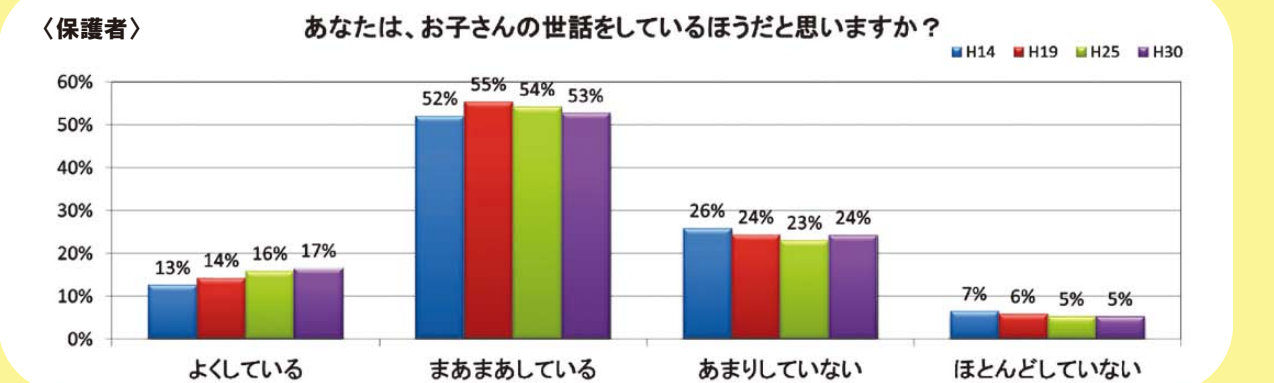
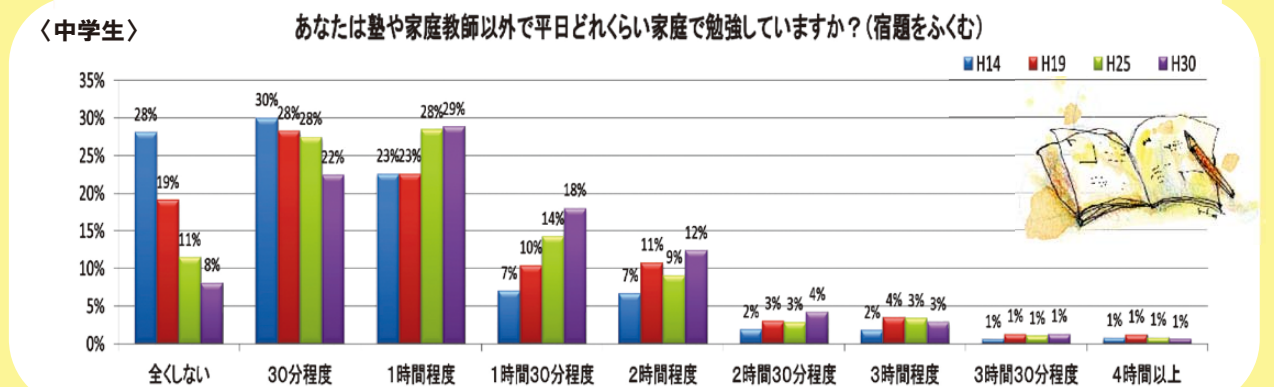
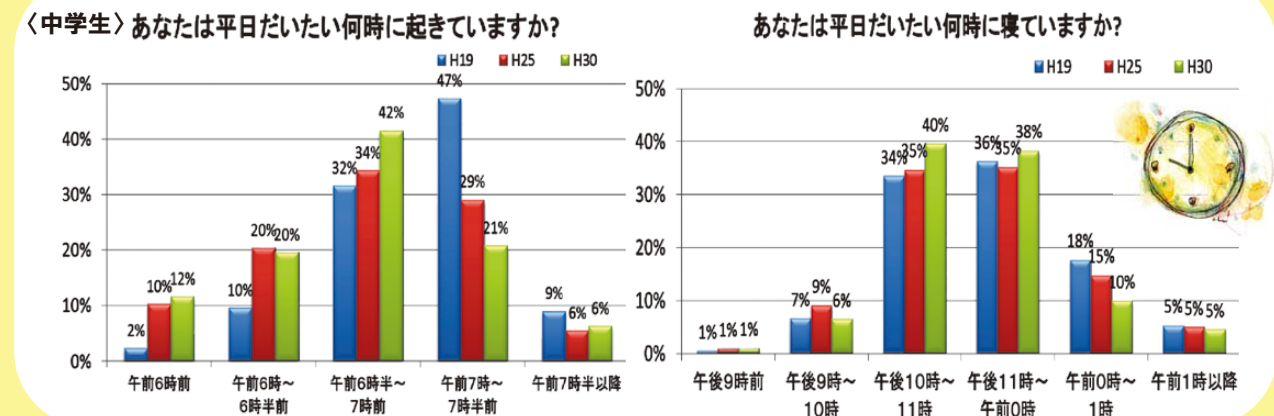
保護者に対するアンケートでは、「子どもと学校生活について話すことがよくある」と「子どもの考えや言い分をしっかりと聞く」の割合が、少しずつ増えています。保護者が、子どもとコミュニケーションをとったり、子どもの考えを受け止めたりする傾向がみられます。また、中学生に対するアンケートでは「家庭生活にとっても満足」が年々増加し、今回の調査では 53%と半数を超え、過去最高の満足度となりました。これは、家庭でのコミュニケーションが充実してきている状況を示していると考えられます。今後も、積極的に子どもとのコミュニケーションを図りましょう。

# 家庭教育やしつけについて学び合う機会を持ちましょう

# 生活習慣、学習習慣のリズムをつくりましょう



保護者に対するアンケートでは、「しつけに自信がありますか」という問いに対して、「大いにある」「まあまあある」を合わせた割合が、平成14年度調査から回を重ねるごとに減少しています。それに対して、しつけについて学習する機会は、「あまりない」「まったくない」を合わせた割合が76%にもなり増加傾向にあります。PTAや地域の研修会など様々な学習機会を活用して、保護者どうして学び合ったり、支え合ったりすることが大切です。また、子育てについての悩みの相談相手は、1位が配偶者、2位が友人や同僚で、誰にも相談しないと答えた保護者も11%います。家庭教育やしつけについては、一人で悩まず、まずは誰かに相談してみましょう。



中学生に対するアンケートでは、「午前7時前に起きる」と答えた割合が平成25年度の調査と比べて10%増え、「午後11時までに寝る」と答えた割合も2%増えています。家庭学習についてのアンケートでは、「全くしない」と答えた中学生が平成25年度よりも3%減っています。これらの結果から、「早寝、早起き、家庭学習」の習慣が身に付きつつあるといえます。

保護者に対するアンケートでは、子どもの世話を「よくしている」「まあまあしている」と答えた割合が、平成14年度から少しずつですが増えています。生活習慣や学習習慣は、決まった時刻、決まった場所で、リズムある生活の繰り返しにより定着していきます。子どもの自主性を尊重しながら、より良い生活習慣、学習習慣づくりのサポートを心がけましょう。